

ともだちいっぱい えがおいっぱい こうなんようちえん



幼稚園だより



令和5年度12月号
港区立港南幼稚園
園長 村上 恭子

心も体も育てる

木枯らしの吹く風の冷たさに身が引き締まるようになってきました。園庭の木々も、葉が落ちてきて寒そうです。温かい11月ではありましたが、日陰や日差しのないときは、空気の冷たさを感じるようになりました。感染症も心配ですが、子どもたちは元気いっぱい遊んでいます。

3歳児の部屋に入っていくと、「園長先生～」と声を掛けてくれる子がいてうれしいのですが、時に活動の妨げにならないように気を付けています。最近思っていることは、身の回りのことをやっている姿にその子なりに自分でやっているという気持ちを感じられるようになっていくということです。手を洗う時も、「ばい菌さんがいなくなるように、きれいに洗おう」としています。また、遊びでは、「やってみたい」「こうしてみたい」という気持ちを感じられます。教師が寄り添いながら、幼児の思いを受け止め、実現できるよう環境をつくったり教材を準備したりして、楽しめるようにしています。今まで経験してきたことや4・5歳児のやっていること、誘ってもらって興味をもったことを、遊びの中で取り入れたり、再現したりすることを楽しんでいる様子が見られます。友達と一緒に学級でいろいろなことをやってみる中で、友達との関わりも少しずつ増えてきています。園で安心して過ごせるようになり、いろいろな関わり(ひと・もの・こととの関わり)で体とそして心が育っているのだと思います。

運動会以降、互いのリズムや競技に興味をもち、教えてもらったり一緒にやったり、普段の遊びで、「～組さんに来てもらおう」と誘ったりする姿が多く見られます。先日、遠足で見てきたことを再現して遊んでいた5歳児が「3歳さんは、行けなかったから」と誘い、3歳児は楽しそうに遊んでいる場面がありました。人のことを思い、人のために～してあげようとする気持ちがこのようなところでも育まれているのだということを実感しました。いろいろなことができるようになるということは成長を感じやすいところです。その根底にある心の部分を育てることが大切だと思います。多様な関わりの中で、いろいろなことを経験し感じながら、「やってみよう」とする気持ちや一人ひとりが大切にされている、自分も他の人も大切という気持ちをもち、成長できるように支えていきたいです。

12月になります。年の瀬の忙しい時期ではありますが、1年を締めくくり、新しい年を迎えるという、子どもにとっては楽しく、わくわくする時期でもあります。寒さも厳しくなりますが、元気に登園しましょう。



港区立港南幼稚園
〒108-0075
港区港南4-3-27
TEL03(3471)7347

港南幼稚園ホームページ 港南幼稚園 Twitter

